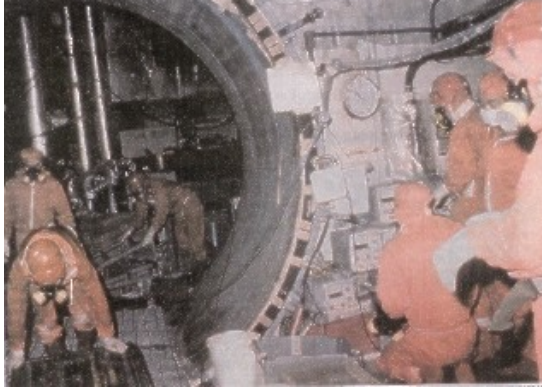


写真家 樋口健二さん

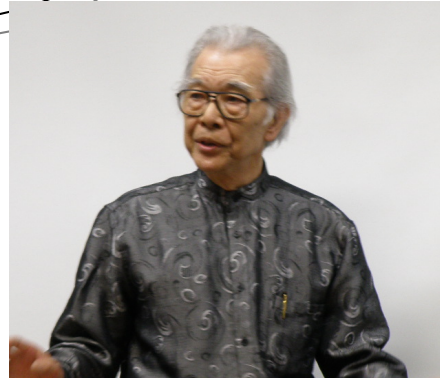
講演会

今も続いている福島原発事故

～次々と生み出される原発被ばく労働者～



定期検査中の原子炉炉心部付近。放射能の濃度が高く、数分しかいられない。



樋口健二さんのシャープで活動的な姿

2月13日(月)

17:50～19:30

阪南中央病院東館2F 講義室にて

福島第一原発が地震によって事故が起きて10ヶ月が経とうとしています。政府は、冷温停止「状態」だとして事故収束宣言をだし、まだ事故が収束していないにもかかわらず、幕引きを図ろうとしています。そんな状態の中でも、福島第一原発の中は宣言前とまったく変わらず、作業員にとっては特に危険な状況は変わりません。原発労働者はぼろ雑巾のように捨てられる状況なのです。

30年以上も原発労働者を追い続けている写真家、樋口健二さんをお招きします。

当院副院長の村田三郎医師とも親交があります。

ぜひ、ご家族、友人もお誘い合わせの上ご参加下さい。

主催：「六ヶ所村ラブソディー」を上映する会 in 阪南中央病院

阪南中央病院労働組合

お問い合わせ：阪南中央病院労働組合

〒580-0023 松原市南新町3丁目3番28号

TEL/FAX：072-331-1919

E-mail：hannan@union.email.ne.jp

近鉄南大阪線「布忍」駅下車、徒歩約8分



この写真集は、2011年12月2日、第17回平和・共同ジャーナリスト基金賞大賞を受賞